

研究課題名	ICUに入室した肺炎患者の重症化予測をするAIアルゴリズムの研究
研究期間	実施許可日 ~ 2026年3月31日
研究の対象	2018年4月から2025年3月の間に、広島大学病院救急診療科および既存試料・情報の提供機関でICUに入室して肺炎と診断された患者さん
研究の目的・方法	これまでに肺炎と診断された患者さんの入院後の重症化予測因子はいくつか報告されており、さまざまな重症化予測スコアが開発されてはいるものの、その精度は十分でなく、現在のところ確立した重症化予測ツールというのは存在していません。本研究は、近年の統計的機械学習技術の進歩を踏まえ、患者さんのバイタルサイン・血液検査などの詳細なデータを用いて肺炎と診断された患者さんのICU入室後の重症化を予測する新たなAIアルゴリズムを作成することが目的です。本研究によって肺炎と診断された患者さんの重症化を高い精度で予測することができれば、その情報を病院間で共有し、重症化の高い患者をより高次の医療機関にあらかじめ搬送することが可能となり、臨床の場において患者さん全体の予後の改善に大きく貢献できると考えられます。
研究に用いる試料・情報の種類	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、性別、転帰（30日及び90日死亡の有無、ICU退院時死亡の有無）、身長、体重、バイタルサイン、血液ガス検査結果、血液検査結果、人工呼吸器の設定、入院後の治療内容です。
外部への試料・情報の提供	カルテ情報は、既存試料・情報の提供機関がパスワード設定したUSBメモリに保存し、広島大学に送付します。広島大学の研究対象者の情報とあわせて、同様にUSBメモリを郵送によって、横浜市立大学医学部 臨床統計学教室に提供し、統計解析を行います。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	取得した資料・情報は、各施設で氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。個人と連結させるための対応表は、各施設の研究責任者が現住に保管・管理します。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 准教授 大下慎一郎</p> <p>研究機関の長</p> <p>広島大学理事 田中純子</p> <p>研究代表者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 准教授 大下慎一郎</p>

	<p>共同研究機関</p> <p>横浜市立大学医学部 高木 俊介</p> <p>既存試料・情報の提供機関</p> <p>千葉県救急医療センター 松村 洋輔</p> <p>前橋赤十字病院 鈴木 裕之</p> <p>八尾徳洲会総合病院 緒方 嘉隆</p> <p>浦添総合病院 那須 道高</p> <p>東京都立多摩総合医療センター 清水 敬樹</p> <p>済生会宇都宮病院 小倉 崇以</p> <p>札幌医科大学病院 文屋 尚史</p> <p>福岡大学病院 川野 恭雅</p> <p>千葉大学病院 服部 憲幸</p> <p>藤田医科大学病院 中村 智之</p>
<p>その他</p>	<p>なし</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>T e l : 082-257-5456</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 助教 錦見 満暁</p>